

■大阪府知事からのコメント

世界中のスタートアップの成長を支えている Startupbootcamp が、ここ大阪において日本で初めて開催されることは、大阪産業の成長にとって、大きなチャンスであり、大変嬉しく感じています。

大阪府とベンチャーエコシステム連携協定を結ぶ阪急阪神不動産をはじめとする 7 社のご尽力によるものと、深く敬意を表します。

大阪府のスタートアップ数は東京都に次いで全国で 2 番目です。現在は、梅田を中心に、スタートアップの活動拠点施設やイベント、大学のスタートアップ教育などが盛んになっており、大阪・関西は、全国でも一二を争うスタートアップの集積都市です。また、2025 年の大阪・関西万博をはじめ、うめきた 2 期開発など内外のスタートアップを呼び込むビッグプロジェクトも目白押しです。

こうした中、大阪府は、大阪市や堺市、経済団体などとともに、「大阪ベンチャーエコシステム推進連絡会議」を設置し、オール大阪でスタートアップの支援に取り組んでいます。また、4 月には、大阪府・市で大阪産業局を発足させており、今後は、この産業局がプラットフォームとなって、スタートアップ支援を加速させていきます。

今回の「Startupbootcamp Scale Osaka」により、イノベーションによる革新的なビジネスモデルが創られ、大阪経済の活性化につながる大きな成果が生み出されることを期待しています。

大阪府知事 吉村 洋文

■大阪市長からのコメント

このたび、Startupbootcamp が日本で初めて、大阪で開催されることを大変嬉しく思っております。

大阪市では、世界中の英知が結集する「イノベーション都市」としての魅力向上をめざし、うめきたの「大阪イノベーションハブ (OIH)」を拠点に国内外のスタートアップや大学、企業、投資家などが連携したイノベーションの創出を支援してまいりました。

また、うめきた 2 期区域のまちづくりにおいては、「みどりとイノベーションの融合拠点」の実現に向け、大阪府や関西経済連合会、大阪商工会議所等とともに「うめきた 2 期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」を設置し、世界をリードするイノベーション拠点の形成に向けた取組みを進めているところ です。

大阪・関西においては、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、「未来社会の実験場」をコンセプトとして、2025 年日本国際博覧会が開催されることから、今後、世界中の知見、最先端技術、人材、資金の大阪への集積が加速度的に進むと思われます。

Startupbootcamp を主催する世界的なアクセラレーターである Rainmaking グループは、本年 3 月に経済産業省、日本貿易振興機構 (JETRO) とともに大阪で開催した地域への対日直接投資カンファレンス (Regional Business Conference) に招へいしており、このたび、日本初の拠点を大阪に設立することとなりました。本プログラムの始動により、海外の有望なスタートアップの誘致や世界中のスタートアップ・コミュニティとの結びつきが一層強まり、大阪のイノベーション都市としての魅力がさらに高まることを期待しております。

今後とも、大阪・関西におけるイノベーション創出に取り組んでまいりますので、本プログラムを通じて、ご協力を賜りますようお願いいたします。

大阪市長 松井 一郎